

■長野工業高等専門学校 環境都市工学科の学生に
『これからの日本を支える技術者たちへ』と題して講義をしました

- 日 時 2014年1月27日(月)
- 場 所 長野工業高等専門学校
- 対 象 者 環境都市工学科 4年生 約40人(内女子5人)
- 講 師 市岡恵利子
- 内 容

(本来の構造力学の講義枠をお借りして、次のようなお話をしました)

- 日本の建設技術のこと
- 今後の社会基盤整備のこと
- 資格のこと(技術士制度についても紹介)
- 女性技術者にとって大切なこと(男性にとっても大切なこと)
 - 〔 男女共同参画社会の推進
 - 情報ネットワークの活用(女性技術者の卵向けイベント情報)
 - ライフデザイン・キャリアデザインの構築(ロールモデルとして『行動する女性技術士たち』を紹介)
- 公共技術者のこと

まとめ(心に残るよう短いセンテンスで)

- ・日本の売りは技術
- ・時代に合わせて社会基盤整備は変わる
- ・資格取得にチャレンジしよう
- ・男女共同参画社会は男女のためになる
- ・情報ネットワークを活用しよう
- ・キャリアデザインを構築しよう
- ・ロールモデルを見つけよう
- ・女性技術者の強みはその多様性だ
- ・公共技術者もなかなかおもしろい



<学生からの質問>

○公務員に関する質問が多く出ました

- ・具体的な仕事の内容
- ・県に就職する場合、大学に進学後が良いのか
- ・手当のこと 等

○男女共同参画に関して男女平等のあり方を問う質問も出ました

因みに、ジェンダーギャップ指数について、日本は幾つくらいだと思いますかと聞くと「0.8前後」という声があがりましたが、中には「0.3くらいかなー」という声もあり、なかなかシビアに見ているなーと感じました。